

島原市高齢者等見守りネットワーク協議会(長崎県島原市)

(構成：島原市、(一社)島原市医師会、ネットワーク委員25団体
連携協力3団体、協定締結事業者34者)

《活動主体の概要》(平成27年4月1日現在)

総人口：46,945人

高齢者数：14,765人

世帯数：19,125世帯

産業構造：産業分類別の人口は、第1次産業では農業、第2次産業では建設業及び製造業が、第3次産業では卸売・小売・飲食業及びサービス業が多い。

地理的構造：長崎県の南東部にある島原半島の東端に位置し、中央部の眉山を中心として東側の有明海へ伸びる傾斜地となっている。

ジオパーク：島原半島ジオパークが2009年、国内初の世界ジオパークに認定。

島原守護神：島原創生元年(2015年)に再び故郷に舞い降りた救世主「しまばらん」が活躍中。



島原市の見守りネットワーク



活動のきっかけ

高齢化の進展に伴い、本市では3人に1人が高齢者という現状にあり、高齢者のみの世帯も年々増え続けています。また、高齢者の孤立死、詐欺被害の発生など高齢者を取り巻く現状はますます厳しさを増していることから、地域において日常生活や仕事の中で、あいさつなどを通じてさりげなく高齢者に接し、見守っていくためのネットワークづくりを進める必要性を感じていました。

このような背景から、平成19年度に組織を立ち上げていた「島原市高齢者虐待防止ネットワーク会議」について、虐待に限らず高齢者等に関する異変にも対応する組織へと拡大し、行政や地域が一体となって高齢者等の見守りを実施し、高齢者等が安心して生活できる地域社会づくりを推進するために、「島原市高齢者等見守りネットワーク協議会」として設立(平成23年11月)しました。

